

古琉球時代に 浦添の人たちが成し遂げた イノベーションの意義と精神を、 地元の人たちに知ってほしい。

一般社団法人りっか浦添代表理事

前田 幸輔 (まえだ こうすけ)・右

琉球歴史研究者、内閣府地域活性化伝道師、
浦添市立図書館前館長

上里 隆史 (うえざと たかし)・左



※撮影のためにマスクを外しています

浦添市内の事業者で 結成された「りっか浦添」

前田 浦添市内の事業者が参画して地域体験イベントを実施している「りっか浦添」は、今年11月の開催で4回目を迎えました。イベントを主催する一般社団法人りっか浦添は、100年に1度といわれる大型開発が進む浦添市でどのような観光振興策が有効なのかをゼロから考えるところからスタートしました。その中で、市内に魅力的な事業者が多いことに加えて浦添が古琉球の発祥地であることに着目しました。それらを掛け合わせることで価値転換を図った新たな体験メニューを提供しようとして「浦添感動体験」をキャッチフレーズにりっか浦添が誕生しました。上里さんには以前からいろいろと協力をいただいています。が、私たちの活動をどのように見ているのですか。

上里 りっか浦添は民間の皆さまが力を合わせて意欲的な取り組みを行っています。すごくいいなと思っています。私は浦添が一番輝いていて力を持っている頃を専門に研究していますので、そのあたりでもうちよつとやってみたくていろいろあるんですけどね。

前田 浦添も今取り組めば50年後には花開く可能性があるということですね。となるとやはり、まずはARやVRなどで最初に見える形をつくって置いて、本物が見られるまでの準備をしておくということがありますね。

上里 そうですね。浦添が成し遂げたことは、沖縄の先史時代から現代に至るまで最大のイノベーションだったと思っています。「万国津梁」の仕組みもその原点は浦添にありますし、その歴史的な意義や社会の在り方を変えた精神も含めて浦添の人たちに知ってほしいですね。

高付加価値の観光を浦添で

前田 私たちは今、浦添の子どもたちに古琉球の時代を知ってもらうための小冊子を作る準備を進めています。原稿は上里さんに書いてもらうことになっていますが、多くの子どもたちに浦添の歴史を日々の暮らしの中で感じてもらうようなきつかけにしたいと思っています。

上里 今回の小冊子は、浦添にあ

なぜなら浦添の歴史って地元の人たちにあまり知られていないんですよ。

前田 おつしやる通りで、私たちも浦添の歴史が市民の方々にあまりにも知られておらず、市民の誇りにもなっていないところに問題意識を持っています。そこで今回は、楽しい体験をしながら浦添の歴史が身につく環境をつくっていきます。今回も36プログラムを実施していますが、それぞれの切り口から浦添の歴史が分かるような仕組みにしています。

上里 多くの浦添の人たちが自分たちの歴史を自覚していない原因の一つとして、浦添グスクなど多くの史跡が目に見える形で残っていないことが挙げられます。浦添グスクが復元を終えるのは2040年代になりますが、全国各地では文化財のAR(拡張現実)やVR(仮想現実)などのデジタルコンテンツがどんどん作られていて、それが観光に上手く活用されています。私は浦添市立図書館に務めている時に市の文化・教育政策にも少し関わっていましたので、「古琉球・近世琉球周遊促進事業」に、内閣府の補助金を活用しながら取り組んでいました。これは現在も進められています。

さまざまなものが世界や過去と空間でつながっていることが分かる画期的なものになると思いますよ。あと観光に関しては、浦添ならではの高付加価値観光が可能なかと考えています。浦添には国王の別邸がいくつかありましたが、今は軍用地として米軍に接収されている小湾にあった中城御殿には戦前まで尚家の方々が利用していたそうです。基地返還後はそれを甦らせ、そこで琉球文化の贅を尽くした体験をしていただく。琉球舞踊、琉球料理、琉球漆器、琉球泡盛などすべての面で最高級のもてなしができるような場所にする。これも浦添だからできる観光の在り方だと思っています。

前田 かつて浦添から琉球全体に広がっていった文化が、再び浦添に戻ってくるようなイメージがもしれませんか。超ハイエンドのVIPをお招きするのなら、そういう施設も必要になるということだと思います。私たちは地域の文化を経済と結びつけるのを得意としていますから、これからも上里さんと連携しながら浦添を盛り上げていきたいと思っています。本日はありがとうございました。

上里 こちらこそありがとうございました。

前田 それが完成したら、ぜひ私たちのプログラムの中でも取り入れさせていたいただきたいですね。私たちは地域の人たちが土台となってお客さまをもてなしてほしいと思っていますので、浦添グスクやようどれなどがARやVRなどで体験できればとてもいいと思います。

琉球最大のイノベーションを 成し遂げた浦添

上里 琉球の歴史というと、多くの人は首里城や王様などをイメージすると思います。ただし首里の歴史は基本的に近世で、日本の江戸時代にあたります。それに対して古琉球の時代は中世。南北朝や室町時代ですね。その頃は浦添が琉球の中心で、海外貿易もこの時代に始まっています。その後の琉球・沖縄の歴史が方向づけられ、確立された時代でもあります。

前田 学校の授業では奈良、平安、江戸などと時代が明確に分けられています。が、琉球の歴史はどうでしょう。

上里 漠然としています。首里の琉球王朝という歴史イメージが大きく独り歩きして、琉球の歴史が何となく近世という感じになっています。江戸時代と奈良時代では

今回は、浦添市内でさまざまな感動体験イベントを実施している(一社)りっか浦添の前田幸輔代表理事と、その活動を歴史の面からサポートする琉球歴史研究家の上里隆史さんの登場です。浦添の歴史が持つポテンシャルをどのように活用していくか、その方法を探ります。

社会の在り方や衣食住もまったく違いますが、琉球の歴史ではそのあたりがあまりいいです。したがって、浦添で古琉球の歴史を盛り上げるためには首里のイメージに乗っかるのではなく、新しい時代イメージをつくっていくところから始めるのかなと思っています。
前田 それはすごく大事なことだと思います。具体的にはどのようなブランディングが考えられますか。
上里 おおよそのことは分かっていますが、それをどのように伝えていくのかというと、やはり先ほどお話ししたデジタルコンテンツになるでしょうか。さらに浦添で活躍した舜天・英祖・察度という3人の王の物語をYouTube上で公開し、それらのコンテンツを市内の小中学校に配布して学校の授業で活用する。そうやって徐々に古琉球のイメージを共有していく。将来のための種まきのようなものですね。実は首里の琉球王朝の歴史イメージも、ちゃんと時間をかけて育てられてきたものなんです。沖縄県史や市町村史、マスコミとのコラボなどにより多くの人に知られるようになった琉球王朝のイメージが、同時並行で進められていた首里城の復元で初めて視

医療法人 陽心会グループ

医療法人 陽心会 理事長 高良 健
社会福祉法人 陽風会 取締役 高良 まき子
有限会社 ヘルスサポート 取締役 高良 まき子

<p>大田中央病院 TEL.098-869-0005(代)</p> <p>リハビリテーション部 TEL.098-869-0050</p> <p>メデカルプラザ大田中央 TEL.098-886-0007(代)</p> <p>一般内科部門 TEL.098-886-0115</p> <p>循環器部門 TEL.098-886-0141</p> <p>腫瘍内科部門 TEL.098-886-0115</p> <p>人工透析部門 TEL.098-886-0151</p> <p>検査部門 TEL.098-886-5678</p> <p>介護老人保健施設 やすらぎの家 TEL.098-869-0030</p> <p>グループホーム たかまーの家の家 TEL.098-887-0081</p> <p>小規模多機能型ホーム 大田 TEL.098-885-0018</p> <p>グループホーム 大田分庁 TEL.098-885-0036</p>	<p>小規模多機能型ホーム 三原 TEL.098-840-0027</p> <p>那覇市三原2-10 TEL.098-860-1270</p> <p>那覇市東区2-10 TEL.098-860-1165</p> <p>那覇市東区2-11 TEL.098-863-1165</p> <p>那覇市地域包括支援センター 新都心 TEL.098-941-2252</p> <p>那覇市東区1-6-15 TEL.098-941-2252</p> <p>那覇市東区1-126 TEL.098-885-0033</p> <p>ケアハウス 泉郷の森 TEL.098-951-0036</p> <p>グループホーム たかまーの家の家 TEL.098-887-0081</p> <p>小規模多機能型ホーム 大田 TEL.098-885-0018</p> <p>グループホーム 大田分庁 TEL.098-885-0036</p>	<p>那覇市東区老人福祉センター TEL.098-886-3510</p> <p>那覇市東区東区2-14 TEL.098-853-1139</p> <p>那覇市東区東区2-11 TEL.098-853-1139</p> <p>那覇市地域包括支援センター 若狭 TEL.098-864-0580</p> <p>那覇市東区1-14-1 TEL.098-832-5981</p> <p>那覇市東区1-26-40 TEL.098-862-1331</p> <p>那覇市東区2-9-43 TEL.098-863-7884</p> <p>那覇市東区1-18-3F TEL.098-862-1501</p>	<p>有料老人ホーム 健寿の社 TEL.098-941-0070</p> <p>有料老人ホーム 松島 TEL.098-869-8557</p> <p>ヘルスガーデン那覇 TEL.098-885-0300</p> <p>デイサービスセンター 松川 TEL.098-885-0300</p> <p>デイサービスセンター 若狭海岸 TEL.098-941-0110</p> <p>デイサービスセンター 大田 TEL.098-886-0066</p> <p>有料老人ホーム 大田中央 TEL.098-886-0061</p> <p>デイサービスセンター 若狭 TEL.098-869-6122</p> <p>那覇市若狭3-5-17 TEL.098-869-0087</p>	<p>有料老人ホーム 若狭別荘 TEL.098-863-3320</p> <p>小規模多機能型ホーム 若狭 TEL.098-951-0550</p> <p>グループホーム 若狭の家 TEL.098-951-0551</p> <p>那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551</p> <p>在宅総合ケアセンター 大田 TEL.098-885-0030</p> <p>那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551</p> <p>那覇市地域包括支援センター かなぐく TEL.098-952-0777</p> <p>福祉用具貸与・販売事業所 TEL.098-885-0100</p>
---	---	--	--	---